

視察（研修）報告書

平成31年2月12日

府中市議会議長 様

会派名又は 創生会

議員名

日 時	平成31年2月4日（月） 13:30～16:00
視察（研修）先	西栗倉村役場（岡山県）
視察（研修）項目	ローカルベンチャーについて
参加者	会派議員6名
視察（研修）内容	1 百年の森林構想～地方創生の取り組み 講師：産業観光課 課長補佐 萩原 勇一 氏
所 感	<p>上記の内容を通して、ローカルベンチャーの取組について説明を受けました。</p> <p>西栗倉村のローカルベンチャーの狙い</p> <p>（1）移住定住対策</p> <ul style="list-style-type: none">・地域に移住を促そうにも、仕事がないので、仕事を地域に作れる人に来てもらう。 <p>（2）小さな行政の実現</p> <ul style="list-style-type: none">・フルセットの行政運営を行ってきたが、民間にまかせられるところを拡大し、複数事業を一体で運営する。 <p>（3）関係人口の拡大</p> <ul style="list-style-type: none">・ローカルベンチャー事業の推進により「西栗倉村ファン」を拡大し、その関係人口の拡大により、地域の経済活動を後押しし、移住につなげる。というものです。 <p>そもそも、西栗倉村には、定住支援はなく、企業支援も地域おこし協力隊制度の利用のみであります。ローカルベンチャースクールや広域連携、新規事業創出事業など、やる気のある人には手厚い支援を利用することができる仕組みが作られています。</p> <p>府中市においても、市の旗印（アイデンティティ）をしっかりと立て、それに共感するIターン、Uターンする「やる気のある人材」に対しては、行政が活躍できる舞台づくりをし、リスクを負う、「行政と民間の連携」の仕組みづくりが必要と感じました。</p> <p>今回の研修をもとに、さらに知識を深め、政策提案に生かします。</p>